

図書館へ行こう！

☆問い合わせ先
西栗倉村教育委員会内図書係まで
TEL0868-79-2216

いつまでも暑い暑いと言っていましたが、10月も半ばを過ぎるときちんと秋の気配になってきました。寒さ慣れてないせいか、秋を通り越して冬がやってきたような感じです！我が家では、早くもコタツとホットカーペットが登場し、ストーブが出番を待っているような状態です。

こう寒くなってくると恋しいのはやはりお鍋！秋・冬野菜がおいしい季節です。というわけで、今月のテーマはお鍋の主演！？「やさい」の話です。

『トマトさん』
田中清代／福音館書店



『やさいのおなか』
きうちかつ／福音館書店




『やさい』
平山和子／福音館書店



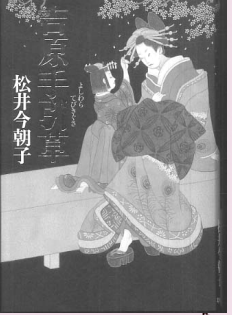
『ぼくのしっぽは？』
しもだともみ／作教育画劇

どうしてぼくにはしっぽがないんだろ。誰か素敵なしっぽをくれないかな…。男の子が色々な動物たちにしっぽを借りていくストーリーを通して、しっぽの役割が楽しくわかる絵本。色々なしっぽの作り方付き。



『吉原手引草』
松井今朝子／著 幻冬舎

なぜ、吉原一を誇った花魁葛城は、忽然と姿を消したのか？遣手幫間、楼主、女衞、お大尽—吉原に生きる魑魅魍魎の口から語られる、廓の表と裏。はたして誰の言葉が真実なのか？第137回直木賞受賞作。




児童書

今月のおすすめ新着本！

一般書

『ミミちゃんのねんねタオル』 アパー・スファート／文 徳間書店

ミミちゃんは、どこへ行くにもねんねタオルと一緒に。「あかちゃんみたいだよ」言われて、ミミちゃんは心配になりました。「ねんねタオル、とられちゃったらどうしよう？」そこでミミちゃんは、秘密の場所にねんねタオルを隠しましたが…？



『カシオペアの丘で』 上下
重松 清／著 講談社

肺の腫瘍は やはり悪性だった…。40歳を目前にして人生の「終わり」を突きつけられたその日、俊介はテレビ画面に、いまは遊園地になったふるさとの丘を見つける。封印していた記憶が突然甦る。僕は何かに導かれているのだろうか…。3年ぶりの長篇小说。



この他にもたくさん入ってます！！新着本コーナーをご覧ください。

その他の新着本	タイトル	人名	出版者
	一瞬でいい	唯川恵／著	毎日新聞社
	かわいがり子育て	佐々木正美／著	大和書房
	ドン・キホーテの末裔	清水義範／著	筑摩書房
	ハル、ハル、ハル	古川日出男／著	河出書房新社
	晩夏のプレイボール	あさのあつこ／著	毎日新聞社
	ぼく、オタリーマン。2	よしたに／著	中経出版
	雪が降るまえに	アルセーニイ・タルコフスキー／著	鳥影社
	楊令伝 1	北方謙三／著	集英社
	あつさのせい？	スズキコージ／作	福音館書店
	いいからいいから 2	長谷川義史／作	絵本館
	きみとぼく	今江祥智／さく	BL出版
	くまちゃんのみずたまはんかち	なかやみわ／さく・え	鈴木出版
	月蝕島の魔物	田中芳樹／作	理論社
	幸せさがし	瀬戸内寂聴／文	講談社
	ちいさいちゃん	ジェシカ・ミザーヴ／作	主婦の友社
	デモナータ 1幕～5幕	Darren Shan／作	小学館
	のんのんばあおぼけどろぼう	水木しげる／〔作〕	文研出版
	ひみつのぼっけ	わたなべきょうこ／作・絵	PHP研究所
	ぶす	内田麟太郎／文	ポプラ社

休館日 11 / 23